

(財) 骨髓移植推進財団  
の論点等について

## 主要な論点

骨髄移植に関する普及啓発、連絡調整等の事業について、国からの補助に見合った効果的な事業運営がなされているか。

(参考)

・国からの補助 4億3,000万円(平成22年度予算額)

\*新規ドナー登録者の推移

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
新規ドナー登録者	4万5585人	4万1482人	3万8003人	3万7826人	3万3859人

\*ドナー登録者の推移

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
ドナー登録者	24万2858人	27万6847人	30万6397人	33万5052人	35万7378人

\*開始シート送付件数の推移

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
開始シート送付件数	1万9413件	2万523件	2万1952件	2万2954件	2万4021件

\*コーディネート開始件数の推移

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
コーディネート開始件数	8711件	8888件	9415件	1万128件	1万215件

\*移植実施件数の推移

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
移植実施件数の推移	851件	963件	1027件	1118件	1232件

**\* コーディネートの流れ**

	件数	職員 (1人あたり 件数)	コーディネーター (1人あたり 件数)
	(件)	(件)	(件)
<b>○コーディネートと確認検査</b> ・職員：担当となる医師、コーディネーターの選定を行う。患者主治医に確認検査の結果を送付する。 ・コーディネーター：ドナーに対する骨髄提供の説明及び確認検査の日程調整を行う。	<b>10,215</b>	<b>243</b>	<b>69</b>
<b>○最終同意</b> ・職員：立会人の調整を行う。最終同意後、採取施設及び患者主治医と手術日等の調整を行う。 ・コーディネーター：ドナー家族への説明、本人意志の最終確認を行う。最終同意後、提供日等の調整を行う。	<b>1,485</b>	<b>35</b>	<b>10</b>
<b>○健康診断、自己血採血、入院</b> ・職員：採取施設とドナーの健康診断等の日程調整を行う。患者主治医に健康診断の結果を送付する。 ・コーディネーター：健康診断時にドナーに付き添い、健康の状態を把握する。	<b>1,598</b> (※再検査数も含む)	<b>38</b>	<b>11</b>
<b>○骨髄採取</b> ・職員：骨髄採取に係る手術の状況把握を行う。患者主治医に採取した骨髄の量等の情報を送付する。 ・コーディネーター：骨髄採取の状況とドナーの健康状態を把握する。	<b>1,227</b>	<b>29</b>	<b>8</b>
<b>○提供後</b> ・職員：ドナーの健康状態の把握を行う。 ・コーディネーター：採取後健康診断の日程調整を行う（退院した後、2～3週間後）ドナーの健康状態を体調が回復するまでフォローアップする。	<b>1,227</b>	<b>29</b>	<b>8</b>

※件数は、平成21年度実績。

※職員（地区事務局）は42人、コーディネーターは147人（平成22年4月1日時点）。

**\* コーディネート期間（中央値）の推移**

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
コーディネート期間 (中央値)	150日	157日	150日	142日	142日

\* 骨髄移植を希望して骨髄バンクに登録した患者のうち、移植に至るのは約6割。

約4割は、移植ができずに登録を取り消している。

\* 人口10万人当たりのドナー登録者数

米国1849人    ドイツ4793人    イギリス669人    日本286人

《共通事項（全法人）》

- 当該法人の事務・事業に対する補助金等の国からの財政支出が適正な額であるか。事務・事業の実施に当たって冗費（ムダ）はないか。

（参考）

	19年度決算	20年度決算	21年度決算	22年度予算	23年度概算要求額
骨髄移植対策事業補助金	4億5700万	4億6400万	4億4100万円	4億2900万円	4億5200万円
うち、連絡調整等事業	3億5800万	3億6400万	3億5400万円	3億4700万円	3億6900万円
うち、普及啓発整備	3300万	3300万	2200万円	2100万円	2300万円
うち、低所得者対策事業	6200万	6200万	6100万円	6100万円	6000万円

※19年度から21年度補助金の足し上げが一致しないのは、運営管理費分。

- ・19年度：500万
- ・20年度：500万
- ・21年度：400万

- 当該法人の組織は、当該法人の事務・事業を実施するために適切かつ効率的な体制であるか。また、管理部門の体制は過大となっていないか。  
併せて、本年9月3日付けの厚生労働大臣からの要請「役員・職員の公募についてのお願い」を踏まえ、具体的にどのような対応を行うのか。

（参考1）組織体制（平成22年4月1日現在）

- ・役員数24名（理事長1名（非常勤）、副理事長2名（非常勤）、常務理事1名（常勤）、  
その他の理事18名（非常勤）、監事2名（非常勤））  
うち国家公務員OB3名（副理事長（非常勤）1名、常務理事（常勤）1名、その他の理事（非常勤）1名）
- ・職員数92名（うち非常勤0名）  
うち国家公務員OBなし  
管理部門比率 13%（12/92）

（参考2）大臣要請を受けての役員公募の方針

- ・役員・・・次期改選時（平成23年4月）に公募を実施予定

- 不必要な余剰資産などを抱えていないか。

(参考)

現預金 (流動資産)	有価証券	固定資産 (土地・建物 等)	その他	積立金・ 引当金等	計
1億2100万 円	6億6000万 円	4200万 円	1億5500万 円	3億8700万 円	13億6500万 円

《役員の数について》

- 職員数や法人の事業内容に照らし、役員数は適切か。

(参考)

- ・役員数24名(うち常勤1名、非常勤23名)  
→ 平成23年度に公益財団法人移行後、約10名(うち常勤1名)に減員予定(法人改革案)
- ・職員数92名(うち非常勤0名)

《国からの補助を受けている事業について》

- 骨髄移植に関する普及啓発、連絡調整等の事業について、国からの補助に見合った効果的な事業運営がなされているか。

(参考)

- ・国からの補助 4億3,000万円(平成22年度予算額)

\*新規ドナー登録者の推移

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
新規ドナー登録者	4万5585人	4万1482人	3万8003人	3万7826人	3万3859人

\*ドナー登録者の推移

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
ドナー登録者	24万2858人	27万6847人	30万6397人	33万5052人	35万7378人

\* 開始シート送付件数の推移

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
開始シート送付件数	1万9413件	2万523件	2万1952件	2万2954件	2万4021件

\* コーディネート開始件数の推移

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
コーディネート開始件数	8711件	8888件	9415件	1万128件	1万215件

\* 移植実施件数の推移

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
移植実施件数の推移	851件	963件	1027件	1118件	1232件

\* コーディネート期間（中央値）の推移

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
コーディネート期間（中央値）	150日	157日	150日	142日	142日

\* 骨髄移植を希望して骨髄バンクに登録した患者のうち、移植に至るのは約6割。

約4割は、移植ができずに登録を取り消している。

\* 人口10万人当たりのドナー登録者数

米国1849人　ドイツ4793人　イギリス669人　日本286人

《その他》

- 自主財源を増大させる方策はないか。特に、寄付金収入の増大を図れないか。

(参考1) 収入の推移

	17年度決算	18年度決算	19年度決算	20年度決算	21年度決算
法人年間収入総額	14.1億円	14.8億円	14.9億円	15.2億円	15.4億円
うち国庫補助	4.4億円	4.8億円	4.6億円	4.6億円	4.4億円
うち自主財源	9.7億円	10.0億円	10.3億円	10.6億円	11億円

(参考2) 自主財源の内訳

	17年度決算	18年度決算	19年度決算	20年度決算	21年度決算
会費収入	0.1億円	0.1億円	0.09億円	0.08億円	0.07億円
財産運用収入	0.05億円	0.05億円	0.06億円	0.07億円	0.08億円
寄附金収入	1.5億円	1.9億円	1.7億円	1.4億円	1.3億円
事業収入	7.7億円	7.4億円	7.6億円	8.5億円	8.9億円
その他の収入	0.3億円	0.6億円	0.8億円	0.5億円	0.7億円

※事業収入の内訳は、患者登録料収入、コーディネーター料収入、血液検査料収入、損害保険料収入、骨髄採取料収入、医療保険財源収入。